

第3回恵庭市市民活動支援制度審査会 結果報告

1. 審査日時 2025年9月30日（火）10時～11時10分

2. 場 所 市民活動センター 2階 会議室8—3

3. 審査員

委員長	市民活動コーディネーター	水野 みどり	出席
副委員長	企画振興部次長	高橋 英志	欠席
委員	総務部財務室長	山口 勝	欠席
委員	教育部次長	山口 晃弘	欠席
委員	NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会理事	高橋 正彰	出席
委員	市民活動コーディネーター	小隅 麻美	欠席
委員	市民活動コーディネーター	浅野 小百合	欠席
委員	市民活動コーディネーター	中嶋 あゆみ	欠席
委員	市民活動コーディネーター	和田 光雄	欠席
委員	市民活動コーディネーター	石山 香織	出席

※欠席委員は事前の書類審査を行った

4. 申請団体及び審査結果

① えにわウォーキングフットボール実行委員会（協働担当課：健康スポーツ課）

事業名	えにわウォーキングフットボール体験会（歩くサッカー）
事業概要	幼児から高齢者まで歩くことを通した健康増進及びヒューマンコミュニティの場を構築。国籍及び性別・年齢・障がいの有無を問わず楽しくスポーツに触れ合う。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・恵庭市の健康増進のため、ウォーキングフットボールをたくさんの市民へ広めてください。 ・歩くサッカーの体験イベントを通じて、健康増進はもちろんのこと、フレイル予防にもつながっていくという新たな発想によるコミュニティづくりは、大変意義のある取り組みであると考えます。本提案事業は、今年で2年目を迎えますが、昨年度の実施を踏まえて、より効果的な周知方法を工夫されたり、開催回数を増やすといった具体的な改善が進めることとしている点は、評価できると思います。今後、このような取り組みがさらに発展し、地域の健康づくりや、世代を超えたつながりの強化に広がっていくことを期待しています。 ・2024年は、申請書では「7月から12月の期間に、1回20～30名で、5～6回の体験会を開催する計画」となっていましたが、実績では、「10月20日の1回開催で、30名の参加」となっています。 ・開催回数が減った分、会場費等の項目は予算比減となっていますが、消耗品が予算2万円に対し8万5千円と大幅に超過した結果、総額では計画とほぼ同金額（補助額10万円＋2,778円）となっています。 ・2025年の申請書では、前年の計画から実施回数を減らして、2～3回の開催としており、開催日は、10/19、11/23、2/22と具体的に示していることから、実施可能性はあると思いますが、予算は、前年と同額の10万円となっており、予算根拠の信ぴょう性が低く感じます。かつ、財源は、本補助金のみであり、自主自立性も低いと感じます。
採択	

審 査 結 果	<委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等> ・ウォーキングフットボールの認知度が高まれば、公益性や協働の必要性が高まってくるものと思われます。 ・市民健康推進にいろいろ努力されること、いろんな機会のある事は大事です。 ・昨年度よりより幅広い方に参加いただけるイベントになると良いですね。 ・年齢、国籍問わずに参加できるイベントということで、非常に魅力的だと感じました。歩くサッカー自体があまり馴染みのないものなので、ぜひ、市と協働で広く知れ渡るようになるとより魅力的な事業になると感じました。 ・次は、支援金だけでない活動も考えてみてください。 ・単にウォーキングによる体力づくりでなく、ボールを使うことで楽しみながら実施することに有効性がある。 ・走らないフットサルという、老若男女等、多様な背景を問わず同じチームとして楽しみながら身体を動かせるスポーツが、このような活動を通して広がっていくことを願います。宣伝たくさんして下さい。
採 択	

② えにわシーニックプロジェクト（協働担当課：花と緑・観光課）

事 業 名	えにわシーニックナイト 2026
事 業 概 要	2026 年で、20 回目となるえにわシーニックナイトを市内、市外に広く知ってもらい多くの人が訪れるイベントにする。恵庭駅から恵み野駅まで、5.6 kmの道にキャンドルロードを作る。
審 査 結 果	<委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等> ・継続されていることが、素晴らしい。周年イベントとして協働で盛り上げて欲しい。 ・まちの活性化委に民間団体が自発的に取り組んでいる事に敬意を表します。 ・まず手弁当で 20 年続けられてきたことに敬意を表します。冬の市民はじめ外からのお客様たちのお楽しみとしてこれからも続けてほしいです。
採 択	

③ Fun time（協働担当課：えにわっこ応援センター）

事 業 名	こどもの居場所づくり事業
事 業 概 要	小中学生や地域の方々を対象に、体験型のイベントを行う。地域住民の参加により、本事業の認知度を高め、継続実施につながることで、ゆくゆくは地域を広げ恵庭市全市民に利用可能な「居場所づくり」のきっかけとなるようなイベント事業を行う。
審 査 結 果	<委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等> ・とてもいい活動です。長く続けるためにも、ゆっくり歩んで行って欲しいです。応援しています。 ・地域のいろいろの機関、団体のみなさんが子供達の安全、安心の確保に苦勞されていることに敬意を表します。 ・特定の地区の問題ですが、全体に共通する問題の解決案として若い保護者達が力を合わせて子供達のために立ち上がった事業を応援したいです。
採 択	